



特定非営利活動法人
発行 くまがや小麦の会

発行責任者 日向美津江

ホームページアドレス

<http://www.kumagayakomuginokai.jp/>

くまがや小麦の会

検索

NPO 法人

くまがや小麦の会

since 2006

事務局 〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良 1797-1
TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 14

第九回のラグビーW杯の開催地が、二〇一九年日本ということ、アジア地区で初開催となる日本大会の開催都市が三月二日の夜に決定し、埼玉県・熊谷市も十二会場の一つとして、見事に候補の夢が実現しました。招致委員会他の関係者一同の熱意に感謝申し上げます。

県立熊谷スポーツ文化公園ラグビー場は、平成三年三月二十四日に、全草大対全明大の試合を「こけら落とし」としてスタ

今年の九月〜十月に、約七週間に亘りラグビー発祥の地イングランドで第八回ラグビーワールドカップ（W杯）が開催されます。第一回大会は、一九八七年（昭和六二年）に、ニュージールランド・オーストラリアで開催され、日本チームも第一回大会から連続して出場していましたが過去の七大会の戦績は極めて不本意なものです。

一八二三年、英国のラグビー校で、サッカーの試合中にウィリアム・ウェッブ・エリス少年が興奮のあまりボールを手で持って相手陣に走り込んだのが、ラグビーの始まりだと言われています。日本でラグビーが始められたのは、一八九六年、慶応義塾にケンブリッジ大学から来ていたクラーク先生が、若者達に手ほどきしたスポーツがラグビーだったそうです。

知らしむべし、拡げるべし！
ラグビータウン熊谷の街を！



ワールドカップラグビー
—ふるさとと再発見

よしたか
吉田 嘉高 さん (77歳)

平成13年1月 仙台市生まれ
東北大法学部卒
昭和37年3月 大協石油(現コスモ石油)入社
昭和40年1月 熊谷市民となる
昭和42年 埼玉国体開催時よりラグビー関係に携わる
平成 3年3月 スポーツ文化公園県ラグビー場落成後
県ラグビー協会の理事長を辞任
現在 吉田、櫻井税理士法人 会長税理士

ンドが観客で埋め尽くされました。
「西の花園」・「東の熊谷」といわれるように、ラグビータウン熊谷のシンボルの一つとして、熊谷駅北口・タクシー乗場の所に大きなラグビーボールのモニュメントが皆様をお迎えしています。

最近では、女子ラグビーも盛んで「アルカス熊谷」も活躍、ラグビーが「男のスポーツ」と言われてられなくなりました。小学生が楽しむ「ラグビースクール」や不惑の年齢を越えた「お年寄り」が楽しむ「楽苦備」。ラグビーが観るスポーツでなくて、自分で参加するスポーツなんだと考えさせられました。そして、「ONE FOR ALL」・「ALL FOR ONE」・「ひとり」はみんなのために、みんなはひとりのために」の精神を持って万事に当たることは、実社会や組織の中で活動する人間にとっては大事なことだと思います。

ラグビーでは、試合の終了時にレフリーが笛を吹き「ノーサイド」とコールします。

試合が終われば、敵味方の区別なくみんなラグビーを楽しむ仲間なんだぞと想っています。

二〇一九年のラグビーW杯が、すべての人が楽しめる大会になるように、ラグビータウン熊谷の街を多くの人たちに知ってもらえるように努めたいと思っています。